

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回川西市障がい者自立支援協議会		
事務局 (担当課)		健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課 内線(2666)		
開催日時		平成25年12月3日(火)午後2時26分～3時36分		
開催場所		川西市役所 7階 大会議室		
出席者	委員 (敬称略)	菅原会長、田口副会長、田籠委員、鮫島委員、秋山委員、植田委員、三木委員、久保委員、蒲原委員、田中委員、細見委員、桑野委員、副島委員、平田委員		
	その他	(欠席委員) 中谷委員、北田委員、大槻委員、土肥委員		
	事務局	根津健康福祉部長、芝福祉推進室長、 足立障害福祉課長、福丸障害福祉課長補佐 (説明員)今西ひまわり荘所長、中西長寿・介護保険課長補佐		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1.協議事項 川西さくら園・さくらんぼの現状と課題を踏まえた今後の対応について 2.その他		
会議結果		別紙のとおり		

開 会(午後2時26分)

出欠報告

○協議事項 川西さくら園・さくらんぼの現状と課題を踏まえた今後の対応について

事務局 (「資料番号1、2」をもとに説明)

運営会議委員 (待機児童について補足説明)

さくらんぼの待機人数は、新規の方の数字を挙げているが、川西市内で理学療法士、作業療法士、言語療法士が常駐しているのは、さくら園・さくらんぼのみなので、そうした訓練を希望する方を、さくらんぼで年間8回という形でさせていただいて、それが1回終わるとちょっと待っていただくという形でさせていただいている。8回終わった後に、ご家族にご希望はいかがですかと伺うと、やはり継続して訓練を受けていきたいという方がおられて、そういう方にはまた待っていただくという形で、どんどん数字が増えているのが現状となっている。

毎年検診等で訓練を受けた方がいいのではないと言われるお子さんが年々出てくるので、新規の数と継続の数を加えるとずいぶん数になってしまう。うちは1クールだけしか受けられないという風にすべきかと悩んだこともあるが、やはりニーズがある以上は続けていかないと、川西市内で訓練を受けられる場所が同施設しかないの、その部分の相談を今させていただいている。

ここの数字は新規の方だけで、継続の方は倍以上いらっしゃる。

事務局 以上のような理由から、前回、さくらんぼの拡充を考えていきたいというご提案をさせていただいた。

また、さくら園の児童発達支援センターの機能として、障害児支援利用計画をつくること、保育所等訪問支援を実施するための部屋の確保が必要だが、現状では困難である。

そこで、現在ひまわり荘が使用している部屋をさくら園、さくらんぼの拡充に充てることとし、ひまわり荘を他所へ移転させていただきたいと考えている。

次に、ひまわり荘の事業内容について、説明員からご説明する。

説明員 (「資料番号3」をもとに説明)

事務局 ひまわり荘の移転先として、老人デイサービスセンターの用途変更を考えている。そこで、老人デイサービスセンターの現状について、説明員からご説明する。

説明員 (「資料番号4」をもとに説明)

事務局 私どもとしては、ひまわり荘を、久代、湯山台、緑台デイサービスセンターのいずれかに移転させていただきたいと考えているが、久代は、近隣にハピネス川西^{No.2}サービスがあるため、湯山台または緑台が適当と考えている。

現在の老人デイサービスの利用者については、これからご説明をしていくが、近隣のサービス事業者を利用させていただくというような方向性を持って、さくら園・さくらん

ぼの拡充を実施していきたいと考えている。

会 長 説明が終わりました。さくら園、さくらんぼは需要が非常に多く待機が発生している。老人デイサービスセンターは、民間の事業者もあり、充足率が下がってきている。そのため、老人デイサービスセンター1カ所を転用し、ひまわり荘を移転させたいという提案である。

順次、みなさまからご意見、ご質疑をお受けしたい。

委 員 指導が必要な子どもなのに待機があったりするのは問題だと思うので、賛成するが、(さくら園、さくらんぼは)川西市民だけを対象とした事業所なのか。

運営会議委員 川西市と猪名川町の方に利用していただいているが、待機を抱えている状況なので、それ以外の方には他市の施設を紹介している。

委 員 良い方向性だと思うので、賛成したい。

委 員 さくらんぼの利用回数を増やしてもらえないかという相談を受けることもあるので、ぜひ、こういった方向で利用頻度を増やしていくのはいいことだと思う。デイサービスセンターは、市内に施設も増えてきているので、施設の有効利用という意味でもこうした方向でさくら園、さくらんぼの拡充を図ってほしい。待機者数の把握はどのように行っているか。

運営会議委員 継続者の把握は、1クール8回が終わる段階で希望の有無を直接聞いている。新規の方は電話相談や保健センターからの紹介で来られた数である。

委 員 各老人デイサービスセンターの利用者が、21年度は7,000人位だったが、24年度には、久代は6,500人だが、湯山台、緑台は5,000人であり、やむを得ない、妥当な判断だと思う。ぜひ実施してほしい。

ただ、湯山台デイは昭和60年に建設されたということで非常に古い設備なので、それなりのちゃんとした補修をしたうえで実施すべきと思う。

委 員 賛成だが、さくら園とさくらんぼが拡大して、理学療法士等の人員は、対応できるのか。場所が大きくなって人数を多く受け入れても、対応する先生方が少なければ、できない。そこが気になる。

運営会議委員 職員配置については、増員のお願いをしている。

委 員 賛否は保留するが、いくつか質問したい。1クール8回というのは、どのくらいの期間で実施しているのか。

運営会議委員 今の職員配置では、1カ月に1回となっている。1クールが終わり次第、次の方に交代してもらっている。

委 員 待機者の順番は、先着順か。

運営会議委員 年齢に加え、初回に評価だけ来てもらって、重篤度、必要の程度を判断して決めている。

委 員 待機している間、直接関わりはないと思うが、どこからも全くケアを受けていない様子か。

運営会議委員 他府県の病院でリハビリを受けている方もいるし、定期的ではないが、電話相談を訓練担当者が受けている。

委員 先ほどの移転の問題でいえば、少ないところへという数の問題ではないという気がするが、移転した場合に、今、午後から実施しているものが1日になれば、大幅に職員を増やさなくても、通所人数が増えても実施できるということか。

運営会議委員 訓練士は補充しないと難しいと思っている。保育士に関してもフルタイムの人員は最低限の定数配置となっているので、午前に配置する人員が必要になってくる。

委員 勉強不足なこともあって、賛成と反対とかはっきり言いにくい部分があるが、基本にあるのは、民間ではどのくらいのことができて、どうしてもできないところは行政がやるべきことで、子どもたちの訓練とか機能回復とかいうことは、設備も時間もお金もかかるので、必ず行政というか、市内にある民間団体などではなかなかできないことはわかっているが…。反対ではないが、保留したい。

事務局 待機の順番について、年齢や重篤度に応じて決めるとのことだが、待機者自身の納得は得られているのか。

運営会議委員 長い方は2年待っていただいているというような現状や、継続的な訓練ができないことを説明した上で、やっぱり待機したいと言っている。できない条件を伝えた上で待機の希望の有無を確認している。

委員 移転については賛成である。

委員 待機者数の多さに驚いている。緑台と湯山台のどちらを廃止するかは、市で判断してもらえばよい。1カ月に1回の訓練や指導が2回になればいいと思うので、賛成する。

委員 重度の身体障がい者の場合は就職が難しいので、卒業後はデイサービスを利用することになる。ひまわり荘の移転については、初めて聞いてびっくりしているが、非常に結構なことと思う。これまで毎年要望して、ひまわり荘をどこかへ移転して拡充してほしい、できればひまわり荘の中でショートステイをやってもらえないかと何度も言ってきた。素晴らしいものができるのか、お茶を濁したようなものになるのかわからないが、非常に期待感を持っている。

ハビネスさんにも重度の身体障がい者のショートステイ、できればグループホーム的なもので宿泊設備まで完備したところがあればいいが、そこまで言うのはしんどいと思うので、差し当たりショートステイでもやっていただいて、勉強していただければありがたい。

No.4

事務局 期待感を持たせてしまっているようだが、湯山台か緑台デイを改装して移転させたい。内部の改装は必要だが、全く新しいものが建つわけではないので、理解してほしい。

委員 結論から言って賛成である。さくら園、さくらんぼについて詳しくはないが、できるだけ待機は少なくしてほしい。何もかも不足しているのが現状である。待機はなくすようにしてほしい。

委員 待機の人数や期間に驚いた。その間、親御さんがいろいろ機能訓練の場所を探さないといけないのが、定員の倍増で緩和されるのなら賛成する。

事務局 児童発達支援の事業所は、さくらんぼを含めて10カ所あるが、23年以降に8カ所と急激に増えてきた。発達障がいが増えてきていると認識しているが、運営会議委員、そのあたりはどうか。

運営会議委員 家族には告知されていないが、保健センターから紹介された児童のドクターの所見は、広汎性発達障がいが見られるので早期に支援した方がよいというもののがほとんどである。

事務局 医療の発達により、そうした障がい規定されていっているということか。

運営会議委員 小さい年齢の子どもなので、保護者の観察に対する聞き取りと発達検査という客観的なデータもあった上での判断と思うが、早期に発達障がいの子供に対する支援が適切になされると、小学校入学後、教室で落ち着かない状況についても少し我慢ができるとか、人の話がこうすれば聞けるとかというところの支援を受けた方が増えてくれば、今まで何も言われていないのにということではなく、支援できる子供の数が増えてきていると思っている。

知的な遅れは持っていないので、発達検査でも指数が、仮にノーマルが85～100だとしたら、それ以上の数値の方が多くいらっしゃる。さくらんぼに来ている子どもは、90～100前後の子どもで、ただ、外に出たときに対人関係がうまくいかないので、幼稚園や保育所でトラブルになってしまいやすい、相手の意図がなかなか汲み取りにくかったり、コミュニケーションがうまく取れなかったりする子どもの発見ができるようになったのではないかと考えている。

特に、放課後等デイサービスが増えてきているのは、1年生から3年生までみんなと同じように留守家庭児童育成クラブで過ごしていた子どもが、その中で不適應を起す子どもが多く、その子どもに応じた余暇支援、学校が終わった後に、ほっとして子供らしく過ごせる場所が必要だと感じている家族が増えていて、その部分での子どもの支援の形が変わってきたので、増えてきているのではないかと。

学校が終わった後や、40日近くの夏休みの間、なかなか家族だけでは、子どもが安心して過ごせる体制がとりにくかったり、母親が働いていれば、留守家庭児童育成クラブで見てもらえるが、指導員の数などにもよるが、そこでは子どもに応じた関わりが難しく、学校が終わった後や長期の休みでも安心して過ごせる場がほしいということで増えているのではないかと考えているが、見守りとか余暇の部分は他の事業所をお願いする部分で、さくらんぼでは具体的な専門領域の職員が対応するというですみわけしている。他の事業所ではそうしたスタッフがないので、他の事業所を使いながらでも訓練を受けたいという思いで使っている人もいる。民間が増えたからと言って解消できる問題ではない。

委員 それぞれの事業所を見ていると、ティーチプログラムを取り入れたりして療育的な要素

を一生懸命追及しているところもある一方、日中の預かりにとどまっている事業所もあり、専門職をそろえて専門的な療育ができるさくら園、さくらんぼは貴重な存在だと思う。

相談支援を行っている、親子関係が崩れていても親が力を持っている間は問題が起こってこないが、子が大人になって力関係のバランスが崩れると、一気に問題が起こって、多くのサービスにつないで支援しなければならない事例が多くある。就学前の親子関係を築くのは重要だと思っており、そうした意味でも母子通園を行っているさくら園、さくらんぼは重要であり、拡充を切に求めたい。

会 長 1名を除いて全て移転に賛成である。改修等の必要性を付帯事項と指摘する委員が2名である。

本件については、以上とする。

○その他

会 長 その他について、なにかありますか。

事務局 特に案件は用意していないが、委員の皆さまそれぞれの立場でご意見等があれば、おっしゃっていただき、議論を深めていただければと思う。

委 員 私は、団体代表としてこの協議会に参加しているが、我々の団体が抱えている問題をこの場で発言してもよいものか。それぞれの団体のことばかりで視野が狭いと思われぬかと心配している。

会 長 この場にご参加いただいている皆さまには、それぞれの団体やお立場から意見をいただくのが趣旨なので、言っていただいて結構である。

委 員 市内の児童発達支援、放課後等デイサービスや日中一時支援の事業所とさくら園の連携を図ってほしいと思うが可能か。

運営会議委員 日中一時支援については、別事業になるが、事業所から講師派遣の依頼があり、行かせていただいている。児童発達支援の方は、立ち上げがたくさん^{No.6}あったので計画の依頼をかけたものの、なかなかお忙しいのか受けていただけていないが、子どもの支援をしている者同士なので今後の課題としたい。

委 員 大事な子どもを預かるという意味で、児童のことをよくわかって支援してほしいというのが基本だと思う。

委 員 サービス等利用計画を立てていかないといけないと思うが、支援センターは今の体制で可能なのか。

運営会議委員 同規模の他市では、相談支援事業所が3カ所か4カ所あるので、かなり厳しい状況である。

事務局 体制については、現在協議中である。

会 長 他にご発言はありませんか。

(「なし」の声あり。)

ないようなので、本日の協議会は以上で閉会する。

閉 会(午後3時36分)